

# 『感染性（ウイルス性）胃腸炎の脅威』

アルコール消毒でも死滅しない、年間100万人以上が罹患する驚異の感染力

例年、11月以降の冬場にかけて流行する感染性胃腸炎。国立感染症センターの観測データによると、年間100万人以上が罹患する重大な感染症です。咳や鼻水などの風邪の症状がなく下痢や嘔吐などがある場合は、ウイルス性胃腸炎の疑いがあり要注意です。代表的なのはノロウイルスとロタウイルスの二種類で、一次感染は、牡蠣などの二枚貝で加熱調理不足のものを摂取した症例報告が多数（中心温度85～90度で90秒以上加熱を維持することで、菌を死滅させられるとされています）。然し、このウイルスの最大の脅威はその驚異的な感染力にあり、一次感染（食中毒）患者の100倍以上が感染性との報告があります。

ロタウイルスから罹患した際の症状は、嘔吐から発熱、そ

して下痢という経過を辿ります。ノロウイルスも同様ですが、症状に大きな個人差があるのが特徴です。抗ウイルス薬はなく対処療法のみです。下痢や嘔吐が続くと脱水症状を起こしやすいため、水分補給が欠かせません。解熱して症状が治まれば出勤することができます。感染が疑われた場合は最寄りの保健所や医師に速やかに相談してください。早期対処で適切な治療を行い、感染経路を調べ、感染の拡大を防ぐことが重要です。

食品加工や仕出し弁当の工場では、場内でウイルス性胃腸炎の罹患患者が出た場合、全館再消毒・全在庫破棄の恐れがあります。当社の「まるごと抗菌」は、そのリスク回避にも採用されています。

## ウイルス性胃腸炎を引き起こす代表的ウイルスであるノロウイルスとロタウイルスの比較

|          | ノロウイルス    | ロタウイルス   |
|----------|-----------|----------|
| 流行時期     | 11月～1月頃   | 11月～4月頃  |
| 潜伏期間     | 24～48時間   | 48～72時間  |
| 完治に要する期間 | 3日間程度     | 3～7日間程度  |
| 年齢層      | 老若男女問わず   | 主に乳幼児～児童 |
| 主な感染経路   | 経口感染、空気感染 | 経口感染のみ   |

文 宮本 貴司 text by Takashi Miyamoto

### Profile

株式会社デルフィーノケア 代表取締役

1972年生まれ。日大文学部卒業。事業会社でITサービス、地域コミュニティーサイトなど新規事業立上げを経験後、2015年12月に代表取締役に就任。「感染症ゼロを目指して」のコンセプトのもと、警察、病院、薬局、学校、オフィス等に「まるごと抗菌」を提供しています。